

令和2年度第2回岩手県公共事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和2年7月13日（月） 8：50～17：05

■ 内 容

令和2年度公共事業再評価対象事業に係る現地調査

■ 調査開始時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	調査対象事業
11：40	(1) 広域河川改修事業 二級河川気仙川（陸前高田市、住田町）
16：00	(2) 都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（盛岡市）

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図及び平面図

参考資料

令和2年度第1回公共事業評価専門委員会の審議概要

岩手県公共事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
石 川 奈 緒	岩手大学理工学部 准教授	土木環境	
泉 桂 子	岩手県立大学総合政策学部 准教授	森林経理学	副専門委員長
小笠原 敏 記	岩手大学理工学部 教授	海岸工学	専門委員長
清 水 真 弘	堤研一事務所 公認会計士・税理士	企業会計	
谷 本 真 佑	岩手大学理工学部 助教	交通工学	
武 藤 由 子	岩手大学農学部 准教授	農業土木	

(敬称略)

令和2年度公共事業評価専門委員会 現地調査行程表

○開催日: 令和2年7月13日(月) 8:50~17:05

○対象事業

- ・広域河川改修事業 二級河川気仙川(陸前高田市、住田町)
- ・都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線(盛岡市)

○行程

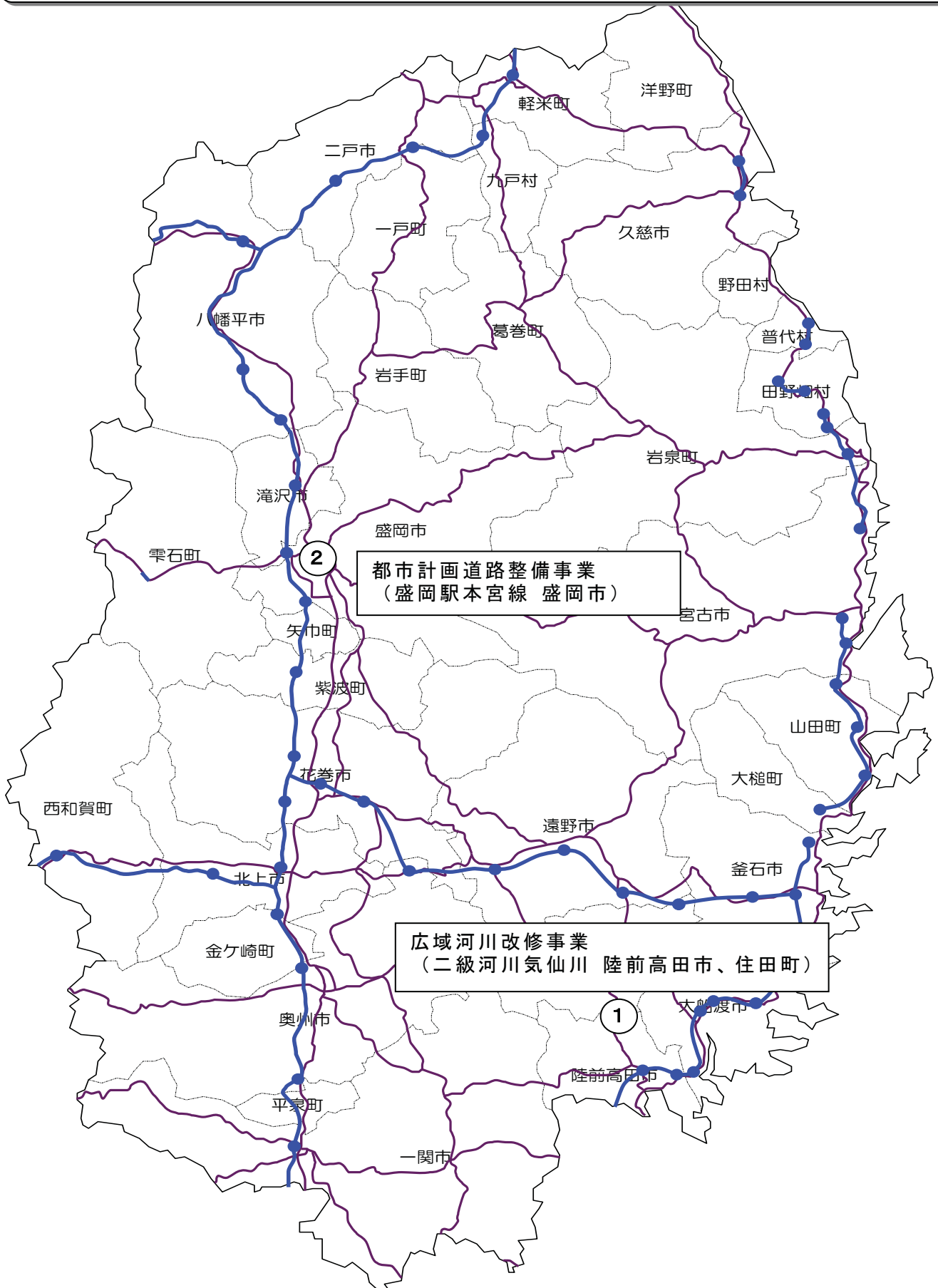
始			0:05			0:40	
県庁	移動時間	着	9:00	移動時間	着	11:35	移動時間
車庫前	0:10	盛岡駅【乗車】		2:30	住田整備事務所	0:05	着
出発					住田町		11:40
発	8:50	発	9:05		発	11:35	再評価対象箇所 現地調査
							広域河川改修事業
							住田町
							発
							12:20

移動時間		0:50		移動時間		0:40	
着	12:25	移動時間	着	12:30	移動時間	着	15:55
住田整備事務所	0:05	0:05	まち家世田米駅	2:35	盛岡市中央公園	0:05	着
住田町			住田町		盛岡市		16:00
発	12:25		13:20		15:55		再評価対象箇所 現地調査
							都市計画道路整備事業
							盛岡市
							発
							16:40

移動時間		0:05		移動時間		0:10	
着	16:45	移動時間	着	16:50	移動時間	着	17:05
盛岡市中央公園	0:05	0:05	盛岡駅【下車】	0:10	県庁		
盛岡市					帰庁		
	16:45		発	16:55			

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和2年度第2回公共事業評価専門委員会現地調査位置図



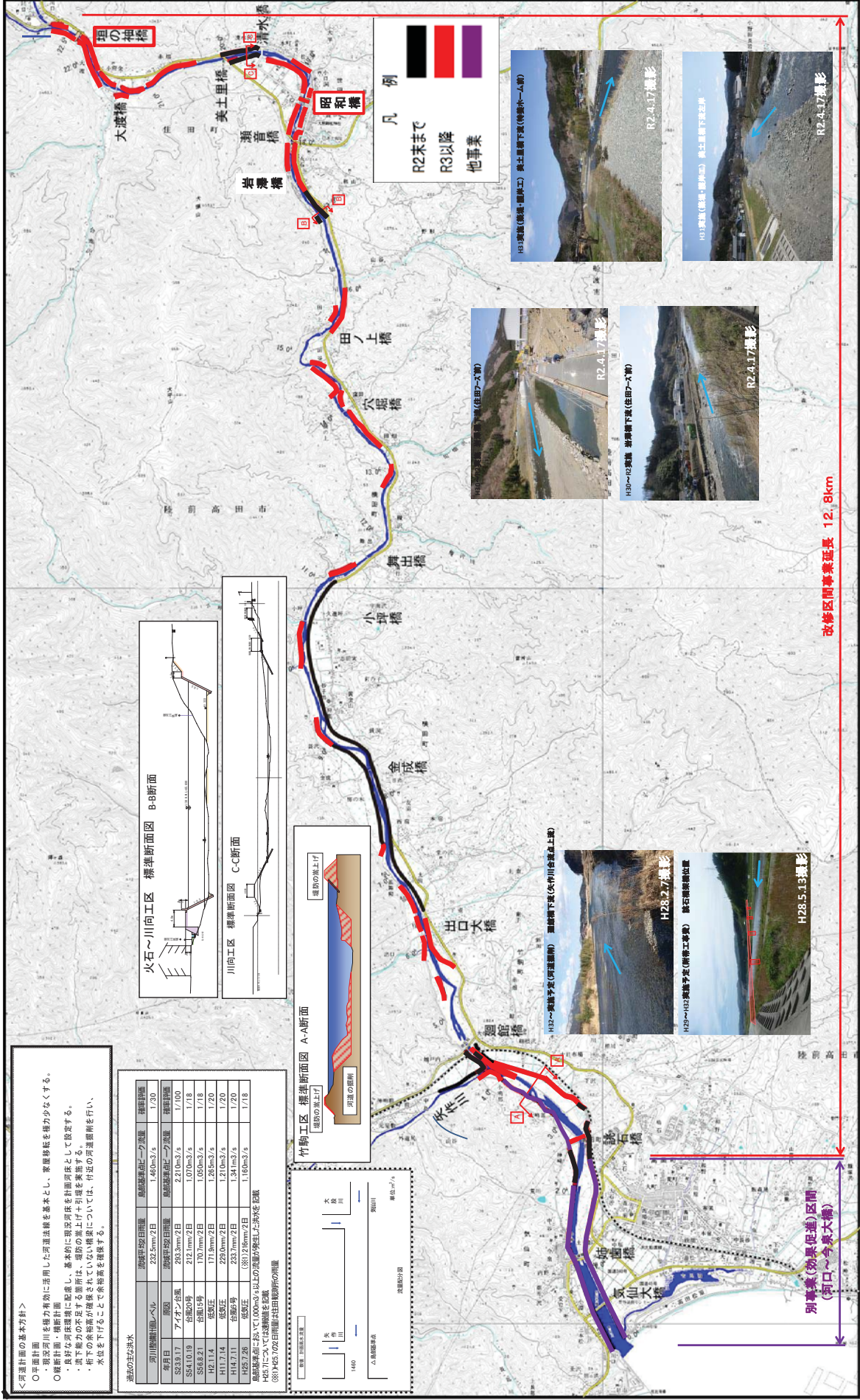
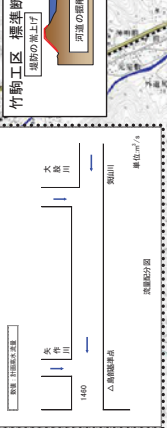
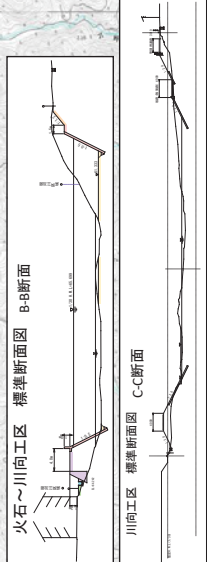
- < 1. 整備の目標 >
- ・ これまでの洪水(アイコン台風を除く)に対して、浸水被害を防御できるよう、河川改修により治水対策を進める。
- < 2. 計画の概要 >
- ・ 島部基準点の計画高水流量1,460m³/sに対して、堤防のかさ上げ+河道の掘削で対応する。
- ※河口部においては、気仙川の堤防沿いに津波避難路の整備を実施する。

<河床断面の基本方針>

- 気仙川を排水力有効に活用した河床法を基本とし、流量移転を極力少なくする。
- 縦断計画・横断計画に配慮し、基本的に取除底床を計画河床と見做す。
- ・ 良好な河床環境に配慮し、掘削の嵩上げ+引揚を要する。
- ・ 掘削の不足する箇所は、堤防の嵩上げ+引揚を要する。
- ・ 掘削の余裕が確保されない場合は、付近の河床掘削を行い、水位を下げることで余裕を確保する。

年月日	河川横断断面へ心	河床平均掘削量	島部基準点へ心	島部基準点へ心掘削量	標準河床
S23.9.17	アイオン方面	293.3mm/2日	1,460m ³ /s		1/20
S24.10.19	谷部方面	212.0mm/2日	2,210m ³ /s		1/100
S24.10.19	谷部方面	212.0mm/2日	1,070m ³ /s		1/18
S24.10.21	谷部方面	170.2mm/2日	1,050m ³ /s		1/18
H21.11.4	谷部方面	242.3mm/2日	1,285m ³ /s		1/20
H14.7.11	谷部方面	333.74mm/2日	1,341m ³ /s		1/20
H25.7.26	谷部方面	(383.74mm/2日)	1,160m ³ /s		1/18

島部基準点とは、V.L.100mを以ては掘削量を記載
H25.7.1については掘削量は田代橋脚の河床



都市計画道路整備事業

都市計画道路盛岡駅本宮線（杜の大橋） 概要図

位置図

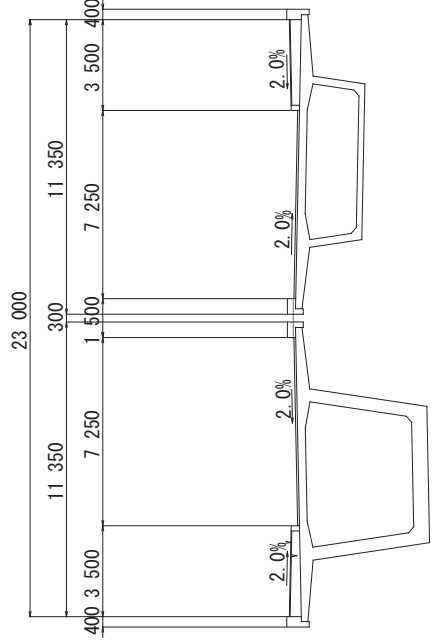


全体計画延長
L=918m

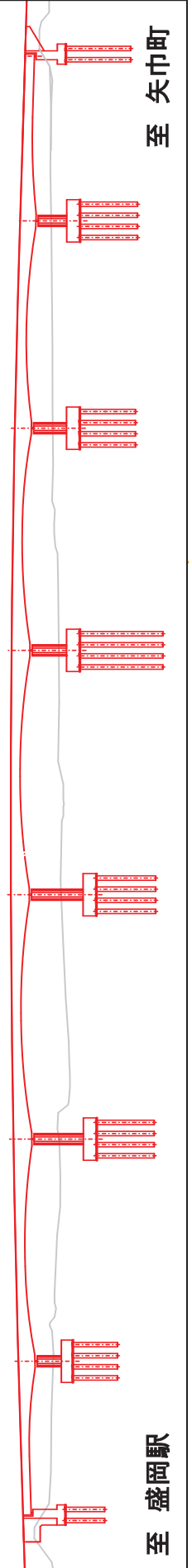
盛岡南新都市地区
都市開発整備
計画と並行計画

標準断面図(杜の大橋)

(下り線) (上り線)



橋梁側面図(杜の大橋)



令和２年度第１回公共事業評価専門委員会の審議概要

1 農道整備事業 褒主地区（軽米町）

質疑等の概要		
専門委員からの質疑等		事業担当課の対応（回答）
①	土工量の増加が総事業費の増加に影響しているとのことであるが、路線を見直すことで土工量を抑えることはできなかったか。	【農村建設課】 起終点は変更していないが、細かい線形の検討は行っている。
②	現行の路線に至る検討過程について、資料を示していただきたい。	【農村建設課】 <u>第２回以降の委員会で説明する。</u>
③	鶏糞の輸送量について、B/Cの便益項目「営農に係る走行経費節減便益」にも影響するため、各市町村別の内訳を示していただきたい。	【農村建設課】 <u>第２回以降の委員会で説明する。</u>

2 林道整備事業 平根山線（陸前高田市）

質疑等の概要		
専門委員からの質疑等		事業担当課等の対応（回答）
①	評価指標の推移において、「地域振興」の地区数が増えているのはなぜか。	【森林保全課】 前回再評価時においては陸前高田市が過疎地域に指定されていなかったが、今回再評価時には指定されているため。
②	評価指標の推移において、「林内路網密度」が上がっているのはなぜか。	【森林保全課】 作業道が入ってきたことにより、前回再評価時より増加したものの。
③	「地域振興」と「林内路網密度」のそれぞれの変化について、資料を示していただきたい。	【森林保全課】 <u>第２回以降の委員会で説明する。</u>
④	B/Cの便益項目「災害等縮減便益」が増加していることについて、資料を示していただきたい。	【森林保全課】 <u>第２回以降の委員会で説明する。</u>

3 広域河川改修事業 二級河川気仙川（陸前高田市、住田町）

質疑等の概要		
専門委員からの質疑等		事業担当課の対応（回答）
①	B/Cの便益項目「被害額の便益」はどのように算出したのか。	【河川課】 氾濫域をシミュレーションし、そこにある資産を細かく積み上げて算出したものである。
②	「被害額の便益」の詳細な内訳について、工事前後の氾濫浸水エリアのマップと併せて示していただきたい。また、今回のB/Cの算出はどの時点を基準にしているか、明確に示していただきたい。	【河川課】 <u>第２回以降の委員会で説明する。</u>

4 火山砂防事業 一級河川北上川水系平笠東沢（八幡平市）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① B/C の便益項の「人的被害」はどのように算出したか。	【砂防災害課】 人的被害は、人命の損傷による直接被害の「逸失利益」と、間接被害の「精神的損害額」を算出するように、費用便益分析マニュアルで定められている。詳細な計算式については、 <u>第2回以降の委員会で説明する。</u>

5 都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（盛岡市）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① 第Ⅱ期である本事業は2車線から4車線に整備するものであることから、B/Cは、2車線が供用済みの状況から4車線に整備した場合で算出した結果を示していただきたい。	【都市計画課】 第Ⅱ期のみで算出した B/C は 6.9 となっている。
② 本事業は、第Ⅰ期と第Ⅱ期で分かれています。当初計画時から4車線で構想していたものか。	【都市計画課】 そのとおりである。
③ 当初計画の全体の事業費から第Ⅰ期の事業費を差し引いた分を当初の第Ⅱ期の事業費として、B/Cを再整理いただきたい。	【都市計画課】 <u>第2回以降の委員会で説明する。</u>

5 その他

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① 総事業費の適切な算定については、令和元年度の答申において附帯意見を示しており、対応いただいていると思うが、その内容について、今年度の委員に改めて共有していただきたい。	<u>第2回以降の委員会で説明する。</u>
② 今回の火山砂防事業のように、B/Cが高くて進捗が遅れている事業がある。B/Cと事業の優先度はどのように関連しているのか、事業評価の考え方を説明いただきたい。	<u>第2回以降の委員会で説明する。</u>